

第3回 村上第一中学校・村上東中学校統合推進委員会

令和7年12月3日(水) 18:30~20:00 生涯学習推進センター 大会議室

参集者：PTA保護者5名・学校運営協議会2名・中学校校長、教頭4名・区長2名・教育委員1名

合計14名

(開会)

(委員長挨拶)

(議事)

(1) 校名の決定について

委員長 それでは次第の3の議題に移ります。それでは議題1について、事務局から説明願います。

市教委 それでは、学校名についてでございます。前回の委員会でも、そして今回のご案内の文書でも記載させていただきました。今回2つの候補から無記名投票により決定いただきたいと考えております。

委員長 ただいま事務局から説明がありました。皆さんから校名や投票についてご意見やご質問等はございませんでしょうか。

推進委員 前回の会議が終わった後に、もう一度区長会に配られてるこの村上市の冊子、統合に向けた、これを読み直させてもらったり、それから皆さんに配られたこのたよりですね、この辺を読み直させてもらったところ、これだけのパンフレットを作った中に、ここに1番大事なこととして、保護者や地域住民の理解や協力を得ながら、丁寧かつ慎重に協議を進めていくというふうに書かれているんですね。この前の協議で、十分尽くされてないような気がするんです。そして、この会議ってのはすごく大事な会議ですよ。ここで本当に多数決で決めて、前回の感じでいくと割れると思うんですよ。これが半々ぐらいで、もし割れてですよ、8割ぐらいで1校に名前が決まればいいですが、これが半々ぐらい、1人か2人の数で片方に決まったっていったときに、これって慎重な審議って言えるんでしょうかっていうふうに考えています。全員の方々からきちんと話されたかなっていうのも前回ありますし。大変申し訳ないんですけど、こういう会議、学校関係者ですので出たことあるんです。それで、ここで当事者である例えば教育長さんとか、それから校長先生が思いを先に述べられると、例えばですよ、教育長さんが私は何々中学校がいいんだと思うんですけどね、皆さんどうですかって言われたら、ちょっと違うなと思う方は意見述べにくいと思うんですよ。ですからもう少し話を進めて、投票で決めるというよりも、この会ではこうなりましたっていうのが大事であって、過半数を超えたぐらいで決まったとなると市民が皆納得できるような説明にはならないかなというふうに思うので。つまりどういうことかっていうと、ここにいる方々が、メンバー見る

と東中学校と一中から半々ずつ集まってるメンバーですよ。ということは市民の代表とも言えるわけで、そこが十分理解できていないのを出すというのは、かなり議会からも質問が来るだろうし、地域の方の納得を得るのは難しいんじゃないかなというふうに私は思います。

市教委 貴重なご意見ありがとうございます。他に皆さんいろいろ思いがあると思いますので、ここでご発言いただければと思います。

推進委員 先日、学校運営協議会を行いコーディネーターの方といろいろ話をしまして、頂戴したご意見をぜひこういうふうな場で共有させていただければなと思います。その方からいただいたのは、当然私もそうなんですけれども、民間の方がどれだけ苦労してお金を得ているか皆さん分かってますでしょうかというお話をいただきました。当然こちらにも公務員の方も多いですけれども、当然民間の方もいらっしゃいますし、年金もらわれてる方とか様々だとは思いますが、その中で、その方からは要は商売、商いをしてお金を稼ぐってどれだけ大変か分かりますかって私、質問受けました。その方がお話されたかったのは、統合を進めるに当たって本当にこう、財政が正直厳しいっていわれてる学校、村上市ですと、その辺りを十分に考えて進めてほしいってというような話をまず言われました。当然市の方で予算は取られてると思います。税金も準備してるとは思うんですけど、何度も言いますがそれは税金なので。というふうな中で、当然必要なところにはお金をかけていく必要があるだろうと。ただ、可能な限り節約できるところは節約した方が当然、先程の市民感情、また市民の意に沿うというふうなところでは、ただでさえ財政苦しいって言うふうに言ってる村上市であればこそ、少しでも節約できるところは節約して、子どもたちのために返すところは返した方がいいんじゃないか。また、やっぱり小学校の保護者の方のご意見聞いたときに、やっぱりお金が極力かからない方をお願いしたい、そのお金があったら新しい学校の整備等に使ってほしいって言うふうな意見があったってということで、コーディネーターさんの方からはご意見承りました。ぜひ伝えていただきたいというふうなことでありましたので、この場を借りてお話をさせていただきます。

推進委員 もうちょっと校名、どちらかにするにしろ、私はこの校名についてはこんな思いがある、私はこっちの校名についてはこんな思いがある、歴史的な経過もあるでしょうから、それをちょっとこう出して、そしてある程度議論が尽くされたかなという段階で決を取るなら取るというふうにした方がいいんじゃないかなと思います。まだそれぞれ校名に対する思いをもっとこう語ってもいいんじゃないかなというふうに思うんですよ。それが校名に対する、前に副委員長さんがおっしゃられていた理由付け、それにもこう繋がってるんじゃないかなということで、ちょっと時間をかけて、それぞれの校名に対する思いを語ってみたいかがでしょうか。

推進委員　すごい無責任な話になってしまうかもしれないので、ちょっと意見として通っていいか分からないですけど、一市民として名前は本当にどちらでも良いというか、こういう意見もあるんじゃないかなってところで決まってしまうと、それを決めるのがこの委員会なんですけど、前回委員の方が、ママたちはどういう感覚なんだろう、名前はっていうような話、ちょっと振ってくださったとき、私ちゃんとお答えしてなかったなと思っていたんですけど、いろんなところからお嫁に来たりしてたりとか、この地域に後から馴染んできた方もたくさんいらっしゃいますので、名前についてこだわりは全く、全くというか、ない方が多くて、子どもたちも、もう高校に入学するんだって分かれば、東であろうが一中であろうが、多分村上中学校になろうが、名前は大丈夫、どんな名前でも、そこが学校なんだから、3年間過ごすわけです。だから大丈夫だしって思いが強いついていうか、そういう感じの受け取り方の方の方が割と今さっぱりしてるんじゃないかなという意見が私の意見1つあったのと、今ちょっと全く違う意見で申し訳ないかもしれないですけど、校長先生と教育長さんの思いを言ったらそちらになびいてしまうんじゃないかっていう意見ありましたけど、私は、もうそれもあってからの話で、あってからでも私たちはそこに意味付けをしていくなり、その現場の意見なんだから、それを私たちがこう尊重して推していこうっていうふうな形の委員会でもいいんじゃないかなって思いがあります。だから、現場の先生たちがやっぱりスペシャリストで今までいろんな経験、統合の経験もされてきたわけですから、そういところでこう沿っていくような感じで決めたことを私たちが納得して市民に伝えていくような形の方がうまくいくんじゃないかなっていう考えでした。

推進委員　今のお話を聞いたり、それから前回までのお話を聞いて、今日は大事な決める日だになっていうことで、ちょっとこう整理したりしながらここに参加させていただいてるんですが、まず1番は、推進委員会の前の会で、一旦両校が閉校するということが決まった部分がありました。そのときに私は村上第一中学校に名前をした方がいいという意見で携わっておりましたし、東中の皆さんからその意見があったりしていたんですが、今回、東中学校とその話し合いの中で、まずお金がたくさんかかって、第一中学校改修したり新築するのはまず無理だ。これはもう皆さんも私も、もうこれ多分金ないですから無理ですと。だから東中の皆さんからはさもありなんというような思いもあったかなと。ただ、あんまりお金に対してこう言うっていうことはよろしくないと思いますので、そこがまず1点。でもさもありなん。それから、子どもたちの気持ちを考えたときに、何か合併、吸収のような、そういう話題も出ましたですよ。それも結果的にそうだよなと思いつつも、でもどっちかに決めなければならないということであれば、若干心を鬼にしなければというようなこともあって。結果的に出たのが両校が閉校して、新しい校名でっていうような話し合いで決まったかと思うんです。今回、この統合推進会3回目になりましたけれども、じゃあどうい学校名が出るのかなと思ったら村上第一中学校がいいと。私、年がもう70になりましたので、村上中もいいんじゃないかなんていう話をし

たんですが、それで会を1回、2回と参加しているうちに、ひょっとしたらこの話し合いの中で、東中の皆さんが、なんか村上第一中学校ということに、さっき言ったようなさもありなんもあるんですが、飲んでくれて、そして大人になったっていうか、それでやっていくのが1番いいのかなというふうに思われたんではないかと。これ、勝手に私の想像です。私は村上中と言ったんですけれども、その後いろいろな人と情報交換しているうちに、70歳以上の方は村上中学校がいいと言うんだけど、第一中と東中っていう候補があるんだったら第一中がいいんじゃないのっていうのは、第一中と東中がもう今の村上を背負った中学校だよというような話なんです。だから、村上中は確かに伝統ある最初の学校だけれども、それ以上に、もう40代、50代、60代、もっと下もそうですが、東中と村上一中に思いを持っている保護者の皆さんが圧倒的に多い、地域の皆さんが圧倒的に多いということもあるので、だったら第一中学校、東中さんの思いもあるんですが、第一中学校ということでお互いにやっていけたら1番いいのかな。お互い様です。一中は引越して行きます。準備大変です。でも、それを受け入れる東中も大変です。だって500人以上の生徒数になるわけですから。机、椅子の勘定から始まって、迎え入れる準備なんというのはすごい大変、フィフティフィフティで大変さがあるので、そんな中で決めていく必要があるかなということで、私は今の話し合いの流れでずっと1回2回聞いてきた様子からいくと、村上第一中学校っていうのが望ましいのかなというふうに思いました。それから、委員の方から学校名はどうでもいいから早くいい学校の名前決めてくれよっていうような思いもあると思いますので、そんなふうな思いを持って今参加させていただいています。

副委員長 思いをっていう部分でお話をいただいたので、私の思いを伝えさせていただきたいと思います。村上第一中学校、校歌校章もさながらなんですけれども、私、村上第一中学校の卒業生です。3年間柔道部の方に在籍しまして、柔道に精を出した3年間というのが私の生涯の思い出の中で1番輝いていた時代ではないかなと思っています。それが村上第一中学校での生活っていうところであるんですけども、実は私の中でお金よりも何よりも絶対に残しておきたいなっていうものがあって、実は村上第一中学校には応援歌があるんです。双翼の旗ゆくところ、伝統のわれらが母校、最後にいざいざ一中っていうような文言が入ってくるんですけども、村上第一中学校で下越大会とか県大会とかあったときに、私3年生のときに部長でありましたので、この歌を壮行会のときに歌ってもらってですね、非常に自分の中でもこの一中という名前を持ってして優勝してくるんだということで、その強い気持ちでですね、試合に臨んでいったっていう、そういう思い出があります。ですので、校歌よりもその応援歌を残したいなっていうその思いがですね、本当に自分の中では強くて、これが私が村上第一中学校っていう名前にこだわる理由ではあるんですけども。同級生の面々もですね、この応援歌という部分、実はですね、PTAの役員のLINEがあるんですけども、これ先代の会長さんから引き継いだものなんですけれども、そのLINEのグループ名がさかまく怒濤なんですよ。やっぱり卒業生の中ではその応援

歌っていうのをやっぱり大事にしたいっていう方がいらっしゃるので、私の気持ちとしてはその応援歌を後世に残して、次の子たちに語り継いでいきたいなっていう、そういう思いがあります。それで、村上第一中学校の校風として推したいというような思いであります。私の思いの部分は以上なんですけども、せっかくの機会でしたので正直に自分の気持ちを述べさせていただきました。

推進委員　　今の話を聞いてちょっと燃えてしまったというか、学校名が決まって、そしてその後、いよいよ次の会議で第二会議（二校会議）というのが開かれると思うんですね。その二校会議の中に先生方と PTA の皆さんで打合せ会議をしていくという格好になっていくわけですが、できる限りそこに時間を割けるような、そんな進み方をしていくのが一番いいかなと思うんです。なぜかっていうと、一中東中を交互に何度か交流してる先生方が非常に多いということがありますし、そういうようなことでお互いに学校の良さを知っている先生方がいます。それから、PTA の皆さんも交流があるんじゃないかと思うんですけれども、子どもを通してそういう交流をやっているとと思うんですね。子どもたちは部活の移行で徐々に学校間の狭間がなくなって、そして交流が進んでいると。だから、我々が考えるよりはるかに子どもたちの方が意識進んでいる可能性もあります。そんな中で今話を聞きながら、双方の学校の、恐らく特色ある教育っていうんでしょうか、その辺あたりについて擦り合わせをしたり、新しいものを考えたりしていく必要が出てくると思うんですが、私もふっと思いついたのが、今の応援歌であります。私の同級生も応援歌指導に俺行ってきたぞなんていう先生もいまして、同期で先生もがいますが、その応援歌っていうのを語り伝えてずっと続けていきたいというようなことで、その当時の校長先生もぜひ指導してやってくれというような話もあったということで、応援歌は常に話題になります。それからイヨボヤはどっちも塩引き作りしているし、そして一中は 05 神楽でしょうか、震災と合わせて踊りがずっと伝統的に続いている。それから、東中さんの方は巨大な運動会用のデコレーション、あれを作っている。非常にお互いの学校に良さがあるので、じゃあどうしてこうかっていうようなことをこれから大事に擦り合わせて、その情報交換をしながらどんどんどんどんまとまっていけるんだらうなということと、よく校長先生と話をした中に、村上大祭がユネスコの国の文化財になったというようなことであれば、1つ統合するのであれば、それも大きななんか特色ある活動の1つになり得るかもしれないというような話もしてらっしゃいました。ただ、それは多分東の校長先生とも話題になっているんじゃないかと思うんですが。そんなふうがいいところがたくさんありますので、その部分を起点に話し合いが進んだらなと思います。以上、私立場で一中を押ししたいと思います。

推進委員　　先程は会の進め方ということで私は意見を出させてもらったんですが、皆さん今思いを話しているので、となると私は私の意見というよりも、南小校区の区長という立場で来てるんですね、村上の。その立場で話をさせていただきたいと思います。私自身は村上第一中学校の出身なのでよく分かります。応援歌も何もね。私も多くの方から意見をこの間聞いてきました。自分だけの意見じゃまずいので。残念なが

ら一中という方は1人もいませんでしたね。東中という人も誰もいませんでした。村上中学校ならいいんじゃないの。この中には現在の東中学区、村上第一中学区と同級生とか地域の方とかも話しました。要するに両方の学校がフェア、どちらもまず名前を捨ててというかね、新しい名前を考えましょうというふうなことで始まったんだから、それは東中の方々は東中に誰もこだわってないわけですよ。当然、新しい学校を作るんだから新しい名前ができるんだろうなと思って、それだったら村中だと言っただけで、委員が言った、多分学区の方がみんな大人だから一中でいいよと言っただけではないと思いますね。というのは私がいろいろな人からの意見を聞いた中でです。新しい学校をつくるんだったら、両方とも自分の学校の名前をちらにして新しい校名を考えるのが、これがやっぱりいいんじゃないのという意見が大半だったということをお知らせいたします。

推進委員 今程、先程のっていうふうなところでお話ありましたので、そこをちょっと共通理解、ちょっとずれてしまうとうまくないので、今一度話させてもらうんですが、先程私皆様にお伝えしたかったのは、村上中がいいとか村上第一中がいいっていうふうなお話を学校運営協議会で話をしてきたわけではありません。そうではなくて、とにかくより子どものためについていうふうなところでっていうことで、お金はそこにかけられるような方向で持っていきってもらいたいっていうふうなところで話し合ったんです。先程委員さんの方から村上中、村上第一中がって話だったんですけども、その話は一切してないつもりです。ですが、あくまでやっぱりお金がかかること、すごくかかると。私もちょっと AI で調べましたけれども、校名変えるだけで何百万から一千万以上かかりますというふうに出てきます。結構すぐ出てきます。それだけかかるんだよっていうふうなところ。その方はやっぱりこう、お金がすごくかかると。当然お金よりも大事なことがあると、十分あると思います。ですけれども、実際に子どもたちに少しでもお金をかけてあげたいっていうふうな思いがその方にあるのも事実だと思いますので、そのことでお金に関しては皆さんちゃんと考えてますかっていうふうなその方の意見を伝えさせていただいたということです。その方が一中がいいんだとか村上中がいいんだと、そういうふうなことを言っただけではないので、聞いておりますけど、ここでは出しません。

推進委員 お金もかかると思うんですけれども、統合するのだからお金はかかるものなんだと私は思っていました。なので、そこはかけるべきお金であって、その後をどうするかを早く決めていきたいなと私は思います。

推進委員 来るときも車の中で今の話をしてきたんですけど、今後はきつともう名前が変わることない校名になると思うので、本当によく考えなきゃいけないと思うんですけど。お金がかかるっていうだけで、いや、だけじゃないんですけど、他にもたくさん労力が必要だと思うんですけど、今後もうずっと長く続くと思うので、そこもちょっと考えた方がいいのかなとは思ったりしてました。

推進委員 思いというところでいうと、私、村上の出身でもなくて村上で育ったわけでもなくて、数年前に村上にやって来て、特に思いというものは無いんですけども、いろいろ周りの人に話聞くと、村上第一中学校と東中学校っていうのが、第一中学校が人数膨れ上がって東中学校ができたっていう話を聞いて、それが元に戻るだけなのかなと。なので特に違和感はないのかななんて思っていました。傍から見ると。今後のことを考えると、そこもそうなんですけども、あと今後いろいろ決めなきゃいけないものに対するスピード感っていうのがちょっと不安があってですね、スムーズに決められる校名の方がいいんじゃないかなっていうのが私の意見です。

推進委員 どうもありがとうございました。なんか私が振ってしまったような感じでした。これからきちんと決めていくと思うんだけど、1つの情報提供ということで聞いてください。私は村上中学校出身です。そして、2年後に閉校になって、旧瀬波中学校と村上中学校が一緒になって第一中学校になりました。第一中学校になるということは、やがて将来的には第二、第三という、そういう番号がつくのではないかなというようなことも考えられたんじゃないかなというふうにその頃思います。それから、実は私は山辺里中学校の最後の教頭でした。閉校をやりました。それから東中の開校にも関わって東中にも1年いました。実はですね、東中という名前はいつ決まったのかっていうのは私は分かりません。赴任したときに、あなたはあと3年間でこの山辺里中学校は閉校するよ、東中学校に一中の村上小学校区の子どもたちと山辺里小学校、門前谷小学校の子どもたちが集まってそれで東中になるんだよと、その準備もあるよと。そうすると3年で1年で4年もいるのかなとそのとき思ったわけですけど。それは置いて、そんなことでそのときに、後で今の話を思いながら、あれ、第一、第二、第三というふうなことがあったのであれば第二中学校にしなかったのかなということなんです。でも、東という、村上の東側にある学校の東という言葉を使った。その辺どういうんだろかななんて思ってたんですね。ということで、情報提供になりませんが、実は県内見ると、一、二、三という番号を使ってるのが三条にありまして。それから東西南北はこれ長岡にあるですよ。でも長岡は東西南北の東北があって5つある。それから三条は、なんかところどころ抜けてるみたいですけど3つぐらい、一とか四とか三とか、なんかそういうのがあるみたいです。そんなことで村上〇〇とつけた方がいいのか、村上で止めた方がいいのか、それはちょっと私も今心の中でちょっと揺れてますけども。そんなことをですね、思いながら悩んでいるところであります。

委員長 どうでしょう、議論は尽くしましたでしょうか。じゃあ皆さん、投票でよろしいのでしょうか。意見なければ投票になるのか、それとも皆さん全会一致で決まるのか。ただ、私個人的に思ってるのは、この名前が決まったとしても、じゃあこの説明、理由、こういうことで決まりましたっていうのがちょっと弱いかと個人的には思ってるんですが。皆さんちょっと思いだけの意見を言ってるような感じで、ちょっとこの学校になったからこういうことでこういう学校になりましたっていう意見がもう少し出てもいいのかなと思うんですが、どうでしょう。議会で説明できる

ぐらいの。説明、これではできないっていうのであれば、もう少し議論した方がいいと思いますけど。それとも決まってから決めますか。

市教委 後で決めるということについてなんですけれども、今まで令和元年、令和2年の15校が関係する学校統合、そして今朝日の方で進んでいる小川小学校と朝日みどり小学校の統合、それに関しても、結局多くの学校で、例えばさんぽく北小学校とさんぽく南小学校だったら、自然とさんぽく小学校がいいねっていうふうになったんですけど、そうじゃないところは、例えば小川小学校、150年以上の歴史があろうが小規模校同士の統合であろうが多数決、投票で決定いたしました。他のところもそうです。ここが中心部の学校であろうが、比較的大きな学校であろうが、その理由付けが難しいっていうことは確かにあるんですけども、最終的には投票で決着をつけていただかないとだめなんだと思います。これまでの経緯からすると。そうして何らかの理由付けをして議会の方にも説明させていただきます。それにしても、もっとお出しただければなと思います。例えばどちらかに味方するとかそういうことじゃなく、今、村上高校と村上中等教育学校が統合することはすでに発表されておりますよね。村上中等教育学校はなくなります。それで、柏崎の例を見ると、柏崎高校と柏崎翔洋中等教育学校が統合して県立中学校になったんですけれども、県立柏崎高校附属柏崎中学校になったんです。もしそうなったとき、ここも県立村上中学校っていうのが仮にですよ、なった場合や、片や市立村上中学校というふうなことになる可能性もあります。もしここで村上中学校という校名にした場合。だからどうだっていうわけじゃないんですけども、県立高校の統合も含めて、ちょっと気になるところです。

副委員長 似たようなところで私も懸念してるのがちょっと頭よぎりまして、村上小学校、村上南小学校、ここも今統合ということで話し合われています。私、村上小学校の出身なんですけど、おそらく村上南小学校は村上小学校から出た学校なので、校名が村上小学校になるっていう公算はおそらく強いんだろうなと思います。じゃあさひ小学校、さんぽく小学校のようにひらがな表記になるかっていうと、ちょっと私の感覚からしたら多分ならないんじゃないかな。そうすると、村上小学校を出た児童は村上中学校となった村上中学校の生徒となり、はたまた今度また県立村上中学校、村上市立村上中学校、ちょっとそういう部分での、学校名の変化がないっていうような部分もちょっと危惧されるのかなっていうところが1つ、ちょっと私の中で浮かんだところだったんですけども。ただ、まだ小学校の部分については、名前とかはそれは想定の話なので、もしかしたらっていうところだけで皆さん聞いていただきたかったんですけども。そんな懸念もあるかなっていうところが1つ、私のちょっと考えてたところです。

推進委員 他の事例を思い出してみたら、新潟に新潟大学教育学部附属小学校があるんですけど、それは附属新潟小学校ってなってますね、附属に。そして、新潟市立新潟小

学校もあるんですよ。そういう事例もあります。だからなんだったんだってということじゃないんだけど。危惧されるのは分かります。情報提供として。

推進委員　そこはちょっと待ってくださいですよ。だって私たちが小学校のときは、村上小学校、村上中学校、村上高校だったわけです。そのままの名前で行ったけど、市立があり、県立があり小中高となったわけですから、同じ村上がついたから変だっていうのは、ちょっと今までそれで育った人間としては、それが理由ですっていうのは逆に私は弱いと思います。市民にそんなことを言ってもね。違うんです、それが今話題になっちゃったから、そこは待ってくださいと。そこじゃなくて、今は中学校の名前1つで考えて、先行きのこととかいろんなこと言っちゃうと今またおかしくなっていくんで、今は2つの学校でどちらの思いがありますかっていう話で決めようとしてるわけです。こちらに戻しませんか。

市教委　だから1番大事なのは、新しくできるこの中学校がその県立の中学校に負けてほしくないんです。しっかりした学校を作ってほしいんです。それに耐えられる校名にしてください。

推進委員　視点変わるかもしれないんですが、後から出る話題とも関連してきてしまうんですけども、校歌について村中、一中、東中、この3校について歌詞をこう見ていたんですね。そしたら、鶯が巣、三面川、臥牛山…舞鶴というふうに表示している学校もあるんですが、そして日本海というふうには、どの学校の校歌を取ってもこの4つの単語はきちんと入ってるんです。だからそう考えると、ここでお金の話になってしまうとだめなんですけど、例えば今の段階で校歌を使って、そしてさらに校章校旗というものを考えたときに、まだ決定はしていませんけれども、工夫、改善によっては経費削減にもつながり、そして子どもたちも、さっき私言ったんですが、第一中学校が今、村上市内の地域、保護者の方の意識の中ではかなり記憶に残っている、そういうところなのかなと。我々70以上超えた村上中学校の人たちは、ある程度それの方でもいいんでないかっていうようなお気持ちを持っているのではないかと。そこは意識の問題なので、ちょっとああだこうだとは言えないんですが、一応私の捉えとしては、そういうふうな形で、孫を見るような、そんなような気持ちで一中をって言ったらみんなが落ち着くんじゃないかみたいなのところがあるかなというふうに思っています。これは理由になるかどうか分かりませんが、一応校歌は全3曲とも同じ考え方でできているなというふうに思っています。

推進委員　こんな考えもあったってことで紹介させていただきます。今、昔こうだったからっていうふうなところもございました。確かにそうだったかなと思います。私、前も話しましたが神林の人間なので神林村立で育てておりますが、今全部村上市に全部くっついてるので、こんな考え方もあるかなって思いました。村上中学校、未来のために残すっていうのもありなのかな。というのは、村上市立朝日中学校、朝日村の朝日中学校じゃない、今村上市立朝日中学校じゃないですか。山北も村上市立

山北中学校、神林もそうですし岩船もそう。全部村上市立なんとなんですよ。ここで村上市立村上中学校を使ってしまふとか取ってしまうと、要はもうそこで全部総括っていうか、他はもう本当に派生、村上市立村上中学校、それ全部っていうふうなところの考え方もあるのかなっていう。変な話、本当にどうなるか分かんないですけども、何十年後、全部村上市で本当1つのでっかい学校つくりましょうって、もう中学校1つしかないですよっていうんだったら、村上中学校っていうのもあるのかななんて思ったんですけども。朝日は村上市立朝日で、神林は村上市神林で、だけど村上市立村上中学校っていうふうなところになったときに、そんなイメージも持ってしまうのかなっていう。おめさんとこ全部総括してるんだかって。旧村上市以外のところからですね。そんな印象もともすると持たれてしまうのかななんて思いました。

推進委員 前回の話で村上の中でも第一という村上市の1番の学校について話がありましたよね。周辺の人が同じ村上市なのに1番なのっていうのは。

推進委員 今、一中の子どもたちは村上の1番だと思ってますか。今いる子どもたちはそんなふうに思って生活してないと思いますよ。うちがどうしても1番だって。

推進委員 いや、そういう意味じゃないんです。

推進委員 いや、そういう意味だと。なんかもう最初っから否定ありきで全部、申し訳ないですけど。そうするともう全会一致には当然ならないと思いますけど。今日あんまり喋らないようにしようかなと思ったんですけど、そもそも去年の今頃の会議のときに、投票で、私はこういうこともあるので様々なことを考えて、村上第一中学校に吸収合併された方がいいんじゃないですか、ついては校舎は東中に行きますよ、そうすると様々な面ですばっと決まると思うんです。去年はそういう話をしたら案外皆さん、うんっていう感じで終わったんですけど、またもう1回投票したら、恐らく何票対何票っていうのは聞いたような聞かないかっていうような、でもかなり僅差だったというようなことなわけです。僅差で決まってるわけで。そもそも学級数だけを比べると一中の方が倍ぐらい大きいです。人数はともかくとして。教員数もそうです。将来、村上の中学生って600人ぐらいになるんです。あと10年もしないうちに。そうすると一中、マックスで1,200~1,300人入った学校なんです。一中1個で村上市全部の中学校賄える大きさで。本来だったらそこに1個ガシャってまとめるのが1番効率もいいし。ただ北は40キロも先まで北ですし、南も10何キロ先まで南ですから、そんな強引なこととはできないと思うんですけど。ある意味いろんなこと考えて、去年あたりはそういうふうにとやたらいいんじゃないですかって話を。案外うまく話がまとまりそうだなとは思ったんですけど、なんかやっぱ対等でなければならぬみたいな雰囲気が出てきていて。いや、実は対等じゃないんですよ、うちの生徒は起きる時間から通学方法がね、みんな変わるんですよ。うちの生徒のことも考えてくださいねって。委員のお子さんが今度、じゃあこれから

山北になりましたって。うちの子ども、じゃあ山北なんだけど、じゃあいいよって、やすやす言わないでしょ。やっぱり迎えにも行かなくちゃならないし。

推進委員　　ちょっと待ってください。私を反対論者と思っている。

推進委員　　いや、思ってます。

推進委員　　先程言ったように、地区の代表として来てるわけですよ。

推進委員　　であれば、地区の代表としてのご意見を。

推進委員　　そこです。それで、私はそういう意味でお話をしてるのであって、あくまで今吸収合併の話だったんですよという話であれば全然文句も言いません。それで決まってしまったのであればね。でも私は区長会に出て、教育委員会からのこの説明をされたときに、あくまでも統合なんだと、フィフティフィフティの形で1番いい方法を考えましょう、両方とも閉校して新しい学校をつくるんですよということでここに来ていて、ここに呼ばれたと思ってるんですね。会員を見れば半々で来てる。そして私は一中の出身ですけど、地域で言えば東学区の代表で来てる。だからこそ、東の方々の意見を聞いてきましたといって話してるわけです。

推進委員　　ですけども、1番最初にそれをおっしゃっただけで、あとはご自身の心情をずっと述べられてるように私は取りました。

推進委員　　先程ちょっと逆に誤解されてるのは、お金の問題を出したじゃないですか。要するに、この前はご自分の意見をちゃんと言ってくださいって言われたじゃないですか、2回目の会議のときに。

推進委員　　その前に委員が欠席なされたときに、アンケートはやりませんっていう決議をして、それだったのでそこから入ったと。

推進委員　　分かります。それで、そういう意見をおっしゃっていて、参考までに聞いてください、僕の話ではないんですがって言って話を出したから。

推進委員　　その前に委員がおっしゃったから言ったんですよ。私が全部区長の話聞いてきたんで聞いてくださいっておっしゃったから、こっちもそういうふうに言っただけです、今日は。

推進委員　　そちらから出た1番最後の話に戻りますけど、1番最後に、村上市立朝日、村上市立山北というふうになると、村上というのが1つ出ちゃうと、そうすると全部包括したようになるとおっしゃったので、そうなれば、ある方が舞鶴小学校でいいんじゃないかっていう人もいたんです。要は計画的にやるっていうんだったら、私の

意見は第一というのがつくのがどうなのかなって言う話ってことなんです。これは私の意見ではなく、他の方々からも賛同いただいています。

推進委員 お話は十分分かります。ご意見ということで、それは、はい。それで先程の多数決の話でもそうですし、このいわゆる両校閉じるっていうところもそうなんですけども、多分不可逆でなきゃいけないと思うんですよ、会議って。前回のときに東中じゃなくていいですか、一中と村上中でいいですかって言って、他にありませんかって話が出たはず。そのときに、じゃあその2つで決めるでいいですか、はい、いいですよっていうふうな話になっているので、このタイミングで当然、村上第一中より村上中がいいって、それはそれで分かったんですけども、ただ、それに対して村上中はこうだから、だけど村上第一の第一に引かかるっていうふうになってしまうと、そこはちょっと不可逆かなとは思いますが、先程の投票で決めるのかってっていうふうな話も、第1回の時に投票で決めましょうっていうふうな話になってますので、そこはちょっと不可逆なのかなって思います。それまで言ってしまえば、両校閉校するっていうのもどうなんだとかってどんどん戻ってしまうので。それはそれ、これはこれかなというふうなところ。私も先程コーディネーターからいろいろ聞いて、お金っていう話ありましたけども、その話に対して、いや、うちのこうだったからっていうふうなところがあったので、じゃあご意見としてはこう出しますよ、ただ、さっき言ったとおり、どっちの校名の方が多かったっていうことは私は言いませんよって言わせてもらったところです。あくまでそこはちょっと線を引かせてください。そこはそういうふなつもりでももちろん言っていないので。とにかく財政を考えてお金がかからないように進めてくださいっていう意見だっ、このこれについてああこうだではないので。はい、お願いします。

推進委員 やっぱりみんな思いがあるもんですから、そこへ話が行ってしまうんですが、一番ないがしろにして、よく保護者の方がいう子どもたちはどう思うのっていう、その部分の原点に一度立ち返ってみたいと思うんですが。まず、さっき言ったみたいに先生方も東中と一中は結構交流しているので、どちらの学校のこともよく知っている。それから、保護者の方はそれぞれの学校を卒業されている方が多いので、子どもたちにも東中ってこういう学校だったんだよ、一中ってこういう学校だったんだよっていうことは本当に親身になって話せると思うんですよ、子どもたちに。例えば二校会議に進んだときに、制服だとか体操着だとか名札だとか、そういう中で、当然先生方の指導のもとだと思ってるんですが、混乱しないようにどうしていったらいいというような話が出てくるかと思うんです。そのときに、やっぱり一中、東中を感覚的に知っている、それから親から聞いている、先生方も自信を持ってこういうことなんだよ、こういうんだよって喋れる。そういう中でいろんなことが決まっていいたら、本当に素晴らしい1つの学校になるんだろうなというふうには思っています。やっぱり私も最後の卒業生で、一中最初の新入生なんですけど、村上中学校って、この前先輩の委員に校歌、なんか私ちょっと曖昧なので歌えますかって。やっぱり先輩すごいぱっと歌えました。だからその辺あたり、どっちかっていうと私、一

中の校歌の方徹底的に覚えさせられたので、そちらの方が歌える。そういう感覚的にも子どもたちを大事にする姿勢であるならば、本当にさっき私が言ったような学校の進め方が1番いいのかなというふうに思います。

推進委員 正直言って私は本当に一中の卒業生ですし、東中に子どもたちを行かせた親です。だから、どちらでも仕方がないんだなって思ってたんです。ただし1回目の話を聞いたときは、東中と第一中学校のどちらかっていうところだったけど、最後に村中もありじゃないのっていう話が出たんですよね。それならば両方ともフィフティフィティ、先程も言いましたけど、どちらも閉校。最終的に統合するのであれば新しい名前がいいかなというふうに思ったものですから、村上中学校ということを押したというよりも、そういうふうになってるんですってっていうふうなことを地域で話したときに、そりゃ新しい学校なんだから、やっぱり両方懸念がないように新しい名前がいいんじゃないのっていうご意見が多数だったんです。それで、その代表としてして来ている以上は、やっぱり村上中学校って出した方がいいかなと自分では今思っているところなんですね。これが第一中学校になったからといって、私がもう通えませんか、そういうものではないんです。そこんこだけは分かってください。

委員長 皆さん、出尽くしたでしょうか。時間ももう次はなんか決められなそうな、時間押してるんですけど。じゃあ、もう最終的にこれ投票でよろしいですか。

市教委 投票でいいかどうかをここで、例えば挙手なんかで諮っていただければと思います。

推進委員 投票で決めるっていうのは、先程言いました第1回の時に投票で決めるで全会一致で可決してるはずなんですけど。

市教委 それはこの段階で投票としてさせてもらっていいかっていう意味でのものです。

委員長 じゃあ、投票に移ってもよろしいでしょうか。よろしいと思う方は挙手お願いいたします。はい。では、投票の方に移りたいと思います。今日欠席の方もいらっしゃいますよね。その辺事務局、説明お願いいたします。

市教委 では、これから投票用紙配布させていただきます。今委員長おっしゃいましたように、本日3名の方が欠席されておりますが、出席されてる委員の方に対しての委任状を頂戴しておりますので、その委員の方にはその方の分の用紙も配布させていただきます。今回は委員長、副委員長にも投票をいただくということでさせていただきたいと思います。では配らせていただきます。用紙の下の方に自由記述欄とありまして、記載はもちろん自由なんですけれども、先程から話のあります、例えば理由付けのことですとか、そういったことを書いていただければ今後の参考とさせていただきますので、記載いただければありがたいです。前の方に時計あります、

今ちょうど7時40分ですが、7時45分までお時間いただいて、その後回収させていただきますので、7時45分までお願いいたします。

(投票・開票)

委員長 それでは、集計結果を発表いたします。村上第一中学校7票、村上中学校10票ということで、学校名については村上中学校に決定いたしました。

(2) 校歌・校章について

委員長 それでは続きまして議題2、校歌・校章について、事務局から説明願います。

市教委 今程は校名を決定いただきありがとうございました。ちょっとお時間も大分押し過ぎてまいりましたが、配布させていただきました資料の次第ではない方の資料をご覧になっていただければと思います。校歌・校章を検討するための資料となります。まず初めに、今校名が決まったわけですけれども、例えば、前話させていただきました前の村上中学校の校歌や校章、そしてまた第一中学校、東中学校の校歌や校章の使用につきましては、著作権の関係、具体的に言いますと制作者の方が亡くなってから70年、著作権の方がございまして、確認しましたところやはりそこまで70年経過していらっしゃる方はいらっしゃらないということで、基本的には遺族の方の許可が必要になるということで、そこも今後決定していく中で確認作業が必要などころもあるかと思うんですけれども、そのところをちょっと置いておいていただいた中での説明とさせていただくことをお許しく下さい。では、まず1の校歌の選考方法について説明させていただきます。前回の統合の際の資料などを参考に選考方法を考えました。①から③までの候補を用意いたしました。①として公募による募集で、②としてはゆかりの人及び専門家に依頼するという方法で、③としてその他の募集方法がないか、皆様に情報を提供してもらおうという3つの方法になります。なお、1番下の表のところに、現在まさに進めておりますあさひ小学校と、それ以降、第1次教育環境整備計画方針によって統合した学校の選定方法を参考に掲載させていただいております。選考方法①の公募による募集につきましては、朝日さくら小学校のときに、下から2番目ですね、作詞のみ公募を行ったという実績がございます。当時の公募については、統合する学校等のイメージが湧く資料を明記した募集要項を作成し、募集期間を3か月間とり、締め切り後選考委員会を立ち上げ選定されておりました。また、募集から決定までに約5か月間を要し、さらに要項を作成する時間も考慮すると、やはりかなりの時間がかかることが分かりました。なお、③のその他に募集方法はないか委員に伺うというところにつきましては、平林小学校、上から2番目ですね、その学区の区長さんに地元推薦等を伺って推進委員会において決定したという例もございました。ただし、当時の資料を見ますと、この方1名のみ推薦で決定されていたようです。続きまして、2の校章の選考方法について説明させていただきます。選考方法については、1の校歌と同様になります。今回のあさひ小学校と朝日さくら小学校、さんぽく小学校以外は専門家の方に

お願いしているようです。神林地域については、地元ゆかりの方をお願いしておりました。選考方法①の公募による募集につきましては、朝日さくら小学校では校歌の作詞と一緒に公募したため、要綱作成から決定まで同様の期間を要しておりましたが、校章のみの募集であれば期間の短縮が見込めると考えております。選考方法②の専門家に依頼する方法につきましては、どなたかいらっしゃるようであればその方から数点作成していただいて、選考委員会で選ぶ方法が考えられます。③の他に募集方法はないのか皆さんに意見を伺う方法もございしますが、平林小学校での場合は校歌と同じで、推薦をもらって決定している例がございました。こちらについても、結果的に1名だけ出てきて、それを承認、決定したという流れでございました。1の校歌、2の校章とも、①～③のどの選考方法が良いのか、重ねて校歌につきましては、校歌の作詞者や、もちろん作曲者もですが、そして校章デザインの制作者などで、皆さんの中で紹介や情報提供いただけるようでしたら教えていただきたいなというところでのお願いになります。今回ちょっと時間の関係もございまして、この後また皆さんからそういったご意見いただくんですけれども、この校歌・校章につきましては次回の会議でまた議題とさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員長 それでは今程の選考方法や情報提供の件についてご意見のある方。

推進委員 参考までに東中学校の校歌、それから校章がどういう形で決まっていたのか、30年前なのかな、ちょっと思い出してお話しさせてください。校歌ですが、歌詞の方は公募です。それから作曲はですね、当時一中の音楽の先生だったのではないかな、その方が作曲です。公募はやっぱり何点かあって、最終的に、要は地元でない方が作った詩が選ばれました。実はその方、現在の東中学校歌の作詞をした方は、今なくなってしまいましたが、山北の南か北の小学校の校歌も作詞されていたんじゃないかなというふうに、ちょっと私の記憶です。それから、続いて校章ですけども、校章はこれ全部公募だったような気がします。ただですね、公募であがってきたのが、やはりちょっとやっぱり今風でないというのか、ちょっとこう古い形なもので。それでたまたまですね、当時一中の美術の先生の指導を受けた一中の生徒の作品が何点かあがってきたんですよ。それで話し合いの結果ですね、やっぱり今風のものにした方がいいというようなそんな話で、現在の東中の校章は1発でボンとこれっていうんで決まったんじゃないかと、生徒たちの案をやっぱり先生と生徒たち、また話し合ったのかな。そして、あの形にこうまとめたんですね。Hという形に、鯉がこう泳いでるようなあれですけども、そういうデザインをしたんですね。そういうことで、さっきお金の話が出ていたと思うんですけども、やっぱり専門的な方に頼むとお金がかかるけれども、そうやって地元の方またはゆかりのある学校の教員と、または生徒というようなことでやっていくと、お金もちょっと軽減できて、そしてまた斬新的なアイデアも出てくるんじゃないかなということで、参考までにちょっと情報提供させていただきました。

推進委員 実はずいぶん、前の村上中学校の時の校歌の作詞者、大木惇夫という方ですね。それから作曲者は団伊玖磨で、もちろん2人とも有名な方だったんですが、この方が、今の説明だとちょっと著作権の関係難しいだろうというようなお話でしたけれども、今ちょっとネットで調べてみたら、両方ともですね、一般社団法人日本音楽著作権協会、JASRAC というところでこの著作権は管理されているということなんです。なので、それをチャレンジしろというわけではないんですけども、この今までの校歌を使うという手も、この JASRAC の方に問い合わせるという選択肢もあるのではないかなと私は思っていますが、いかがでしょうか。

推進委員 今の JASRAC の件なんですけども、ある歌をやっぴりこう使いたくなっていったときに、問い合わせたときにちょっと難しかったです。かなり難しかったです。でも、今回はどうなるか分かりませんが、JASRAC に問い合わせることはいいんですけど、あまり期待はしない方がいいんじゃないかなと。

推進委員 それは音楽特有のあれでしょうかね。

推進委員 それは分かりません。

市教委 いろいろな情報ありがとうございます。次回の委員会までにはそこらへんも確認させていただいて、また皆さんにお伝えさせていただきたいと思います。

委員長 では、次回に持ち越しということでよろしくお願ひします。もし次回までに誰かいい人がいないかも含めてご検討していただければと思います。

(3) その他

委員長 続きまして、最後、3 その他となりますが、今までのことも含めて何かございませうでしょうか。事務局の方では何かありますか。

市教委 特にございません。

委員長 はい。それでは、本日の議題については以上となります。大変ありがとうございました。

市教委 委員長、副委員長、大変ありがとうございました。それでは、閉会の挨拶を副委員長よりお願いいたします。

(閉会)

(副委員長挨拶)